

## 農林水産省による「農山漁村への貢献活動に係る取組証明書」の取得について

2026年3月30日

カンダまちおこし 株式会社

十六フィナンシャルグループのカンダまちおこし株式会社（代表取締役社長 田代 達生、以下「当社」といいます。）は、農林水産省が令和7年度より創設した「農山漁村での課題解決に貢献する企業等の取組を証明する『取組証明書』制度」における「取組証明書」を取得いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

本証明書は、当社が参画する岐阜県白川村での「企業の森づくり」（岐阜県・白川村・株式会社太平製作所・当社の4者連携）に関する一連の活動が、農山漁村における社会的インパクト創出につながる取組みにあたりと評価されたものです。

また、本証明書の取得は、中部地方の金融機関グループでは初めてとなります。



### 記

#### 1. 取組の概要

取組名	「太平の森 白川」企業の森づくりによる森林整備・皆伐再生林の促進
実施者	当社、株式会社太平製作所
実施地域	岐阜県白川村

※ 詳細は、別紙「農山漁村への貢献活動に係る取組証明書」をご参照ください。

#### 2. 農林水産省「農山漁村での課題解決に貢献する企業等の取組を証明する『取組証明書』制度」について

##### (1) 概要

本制度は、農山漁村の課題解決に向けて、企業等の金銭的・技術的・人的なリソースを活用した取組みを国が証明する制度です。

人口減少や高齢化が進み、食料供給の不安定化や多面的機能の喪失が懸念される農山漁村では、多様なステークホルダーと連携した活性化が求められています。企業等による社会的インパクト創出につながる個々の取組みを後押しするため、令和7年度より創設されました。

## (2) 選定対象

農山漁村における、食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展、持続的な生活環境の維持等に関する課題解決を目的に行われ、今後も継続することが見込まれる企業等の取組みが選定対象となります。

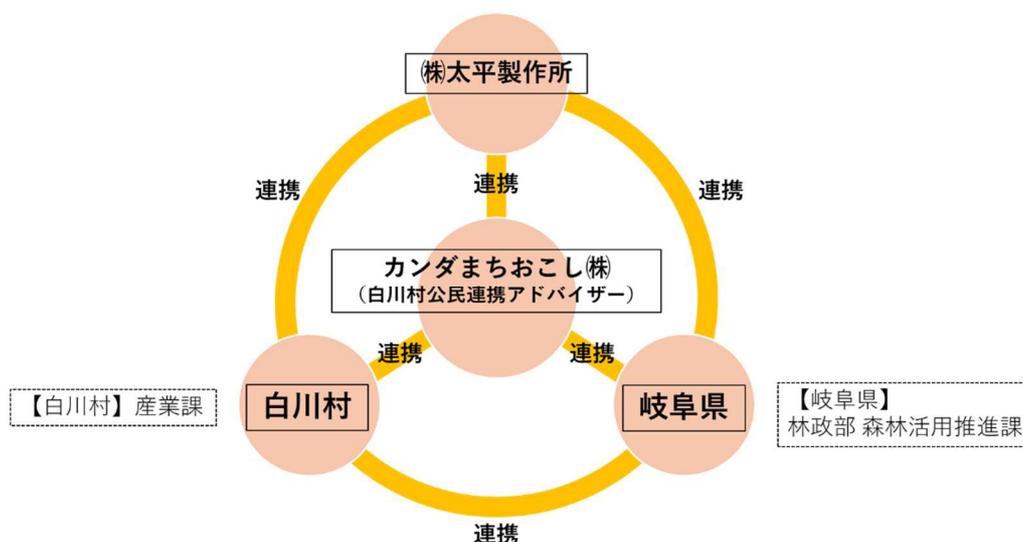
具体的な取組みとしては、以下などが挙げられます。

- ・ 副業を促進することで農山漁村外の人材を活用する取組み
- ・ 農林水産物のブランド化により付加価値の向上を目指す取組み
- ・ 道の駅等の整備により農山漁村地域の機能維持を図る取組み

## 3. 本取組みが目指す社会的インパクトについて

当社は、企業版ふるさと納税マッチングサービスにおいて、未来志向の公民連携を具現化する「共通価値創出型」の寄附仲介に注力しています。

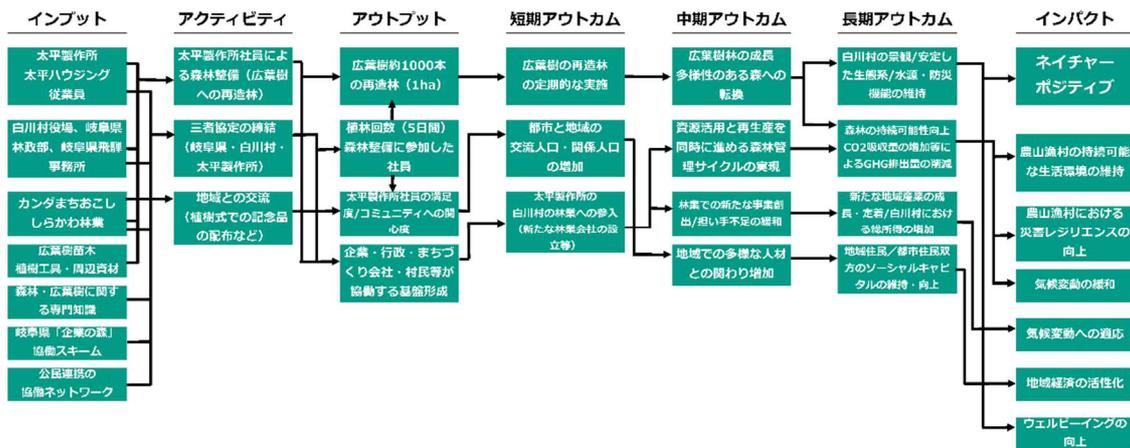
本取組みは、株式会社太平製作所（以下「太平製作所」といいます。）が岐阜県白川村への企業版ふるさと納税を行ったことを契機として、岐阜県林政部・白川村産業課・太平製作所・当社の4者連携により推進したものです。太平製作所は2025年6月、白川村に企業の森「太平の森 白川」を整備し、森林資源の保全活動を通じて世界遺産白川郷の環境保全と持続可能な村づくりを支援しています。



太平製作所は、木材加工機械の製造をコア事業とし、「木材を大切にする 地球を大切に  
する 人を大切にする」をビジョンに、森林循環を重視したサステナビリティを掲げていま  
す。今後は白川村において林業子会社を設立し、以下の事業を展開することで、持続的な  
事業実施体制の構築を目指しています。

- ① 伐る事業：スギ・ヒノキの原木販売
- ② 植える・育てる事業：観光と接続した植林・育林
- ③ 資源循環型複合事業：菌床栽培・育苗

<ロジックモデル>



こうした公民連携による「共通価値創出型」マッチングの取組みが、農林水産省の掲げる「農山漁村振興への貢献活動」に合致したことで、今回の取組証明書の取得につながりました。

当社は引き続き、農山漁村振興における社会的インパクトの創出に向けた公民連携を推進してまいります。

- ご参考：[世界遺産白川郷の森を守る！企業版ふるさと納税による1億円の寄附をきっかけに、株式会社太平製作所が白川村初となる「企業の森」づくりに着手（2025年2月26日）](#)
- ご参考：[太平製作所様が白川村にて「太平の森 白川」除幕式と植林活動を行いました（2025年6月6日）](#)

以上

【ご照会先：十六フィナンシャルグループ（広報） TEL 058-266-2511】

## 農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

### 実施者

カンダまちおこし株式会社、株式会社太平製作所

### 取組概要

取組名 : 「太平の森 白川」企業の森づくりによる森林整備・皆伐再造林の促進  
実施地域 : 岐阜県白川村  
アクティビティ種別 : ②地域の自然資源の維持・向上  
取組形態 : 直接的貢献 間接的貢献  
取組実施日・期間 : 2025年6月3日～2025年6月5日

### 取組詳細

**取組の目的・解決したい課題**  
白川村は森林率 95%だが、担い手不足、森林境界未整備、人工林の高齢化、病虫害の拡大などによって森林の公益的機能や景観が損なわれつつある。また、人工林の脆弱化は林業の再生可能性も下げている。  
そこで、伐採跡地に広葉樹を植え、人と生物が共存する森へ転換することで、自然資本の再生と地域林業の持続性向上を図る。また、この取組に企業全従業員が参加する形で ESG 経営を実践し、地域林業に新たな担い手や価値循環を生み出す。

**インプット**  
✓ 太平製作所・太平ハウジング従業員：約 150 名（3 日間で交代参加）  
※その他関係者の参加もあり  
✓ 広葉樹苗木（約 1,000 本）、植樹工具、式典資材等の準備  
✓ 技術・知見・ネットワーク：広葉樹転換・森づくりに関する専門家による知見の提供、岐阜県の「企業の森」制度に基づく協定スキーム、白川村・カンダまちおこし・岐阜県林政部との協働ネットワーク

**アクティビティ**  
✓ 太平製作所社員による森林整備（全従業員 150 名参加、3 日間、広葉樹 1,000 本の植林）  
✓ 地域との交流（植樹式での記念品（「太平の森 白川」オリジナルラベルの日本酒）の配布、村民の植樹作業の参加、懇親会の実施）

**今後の展望**  
太平製作所が白川村において林業子会社の設立を準備中であり、森林循環を担うアクターが地域に加わることで林業の事業化・バリューチェーンの拡大が期待される。上記の林業子会社は、①「伐る事業」（スギ・ヒノキの原木販売）、②「植える・育てる事業」（観光と接続した植林・育林）、③「資源循環型複合事業」（菌床栽培・育苗）を目指しており、2028 年 12 月を目途に、持続的な事業実施体制を構築する。